

子育てひろば研修セミナー〈奈良開催〉

「ひとを育てる人育て、 子育て環境日本一をめざして」

◆開催概要

開催日：2008年10月25日（土）10：00～17：00

会場：奈良市男女共同参画センターあすなら（奈良市三条本町8番1号）

主催：財団法人こども未来財団／NPO法人子育てひろば全国連絡協議会

後援：厚生労働省／（社福）全国社会福祉協議会／奈良県／奈良県教育委員会

協力：子育てひろば研修セミナー〈奈良開催〉実行委員会

NPO法人 奈良NPOセンター

参加者：138名（NPO関係者：66人、行政：24人、その他企業・団体：12人、その他：36人）

◆開催趣旨

平成19年度より、つどいの広場事業、地域子育て支援センター事業を統合し、児童館などのスペースも活用しながら、地域子育て支援拠点事業（ひろば型、センター型、児童館型）が新たに再編されました。そこで行政とともに地域における子育て支援拠点間の連携を図りながら、子育てひろばの意義と役割を検証します。また、ひろばスタッフ一人ひとりが日頃の活動を振り返り、見識を深め、スキルアップに寄与することを目的とします。

◆プログラム趣旨

豊かな自然と世界遺産に囲まれた街であるにも関わらず、国内有数の少子化県である奈良。少子化対策は特効薬があるわけではなく、その原因と向き合い絶えず対策を打ち続けなければなりません。そのためには、地域に暮らす様々な世代・職業・背景の人々が子どもや子育てに関心を持ち、関わっていく環境づくりが重要です。そこで、本セミナーでは、子育て支援者の支援力向上を図るとともに、子育てひろばの意義と役割について検証します。

◆主催者挨拶

「この子育てひろば研修セミナーは NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会と当財団子ども未来財団の主催で、地域子育て支援拠点事業として、ひろば型、センター型、児童館型の3つが一緒になってからひろばの良さを伝えるために 10 ヶ所で開催しております。

(中略) 子育て中のお母さんが皆さんから声をかけていただく時にいくつかすごく辛かったという調査があります。ぜひ子育て中のお母さんだけでなくお父さんに対してもやさしい言葉をかけていただけたらと思います。今回の研修もそういった身近な、そばにいるひとのためにあるひろばというものをご紹介しますので皆さんの中でどういうものかを知っていただく機会になればと思います。」

(財団法人子ども未来財団 研修事業部：武田久恵さん<下の写真左>)



「今回の子育てひろば研修セミナーの地元の開催事務局をさせていただいております奈良 NPO センターの仲川と申します。(中略) 最近思いますのは、子育てをテーマにした活動、子どものための活動をされている方だけでなく様々なテーマで活動している団体の皆さんが、子どもたちの置かれている環境であったり、特に奈良では子育てがしにくいという声、そういったものに非常に強い関心をもっているという風を感じております。(中略) 今日のプログラムは主に午後に分科会でテーマごとに議論をしていくような機会を設けております。是非参加をされている皆さん自身が日頃お感じのこと、それから活動をされている上で悩まれていることなどを議論していけるような一日にできたらなと思っております。」

(NPO 法人奈良 NPO センター事務局長：仲川元庸<上の写真右>)



総合司会

奈良県立大学 岩元晴佳

◆プログラム1 基調報告



「地域子育て支援拠点事業の概要と展望」

講師：朝川 知昭さん

厚生労働省少子化対策企画室長

現在の子どもを取り巻く状況に対する、国の政策と今後の動向「新待機児童ゼロ作戦」や「子ども・子育て応援プラン」について、また、ひろば事業のあり方や21年度予算概算要求についてなど、幅広くご報告いただきました。30分という短い時間に関わらず、たくさんの資料やパワーポイントを活用し、分かりやすく端的にお話しただけました。

〈感想〉

国の現状について説明していただき、よく分かりました。不安なのは、国会の解散や首相の辞任など、政治に左右されることです。少子化の原因と言うのは1つではないと思いますが、本当に腰をすえて国が動いてくれないと、個人や民間だけではどうにもできないくらい混みいった問題だと思います。

◆プログラム2 パネルディスカッション

「子育てひろばのこれから」

～親の力を引き出すために、子育てひろばができること～



写真左より順に



コーディネーター

都築由美さん 鳥見あそび隊 代表

パネリスト

奥山千鶴子さん NPO 法人びーのびーの 理事長

赤松邦子さん へぐり CO 育てネット 代表

高木三起子さん 奈良県福祉部子ども家庭局 局長

子育てひろばの第1人者である奥山さん、奈良県西部の平群町で「親育ち」も視野に入れ日々奮闘されている赤松さん、奈良県の子育て行政のトップ高木局長をパネリストに、フリーアナウンサーで、子ども達を地域で育てていくなかで地域全体の結びつきが強めていこうと活動されている都築さんをコーディネーターに迎えて行われました。

行政と地域の子育てひろば、子育てグループの関係性を中心に、参加者も巻き込んだ非常に「熱い」討論・意見交換が行われました。

〈感想〉

この分野でのベテランの方の発表及びご意見に経験の積み重ねを感じました。豊かな経験に学ぶことが多いパネルディスカッションでした。

行政、民間、住民、それぞれの立場からの意見を聞くことができ、一つのことを広い視野で見ることが必要だと再認識しました。

地域に根ざしたたくましい取り組みの姿を熱く語って下さり、子育てに関わる環境及び今の親子の置かれている実態が分かりました。

◆プログラム3 分科会

分科会1 そもそも「子育てひろば」の役割とは？



写真左より順

コーディネーター

奥山千鶴子さん NPO 法人びーのびーの 理事長

事例報告

田丸かよこさん NPO 法人ママの里 理事長

三木 幸さん 子育てサポートグループ Doula club 代表

〈分科会の内容〉

奈良県中部で子育てに関して活動されている田丸さん、三木さんの事例報告から、パネルディスカッションの内容も踏まえて活発な議論が交わされました。子育て中のお母さんの気持ちを代弁して、社会や行政やみなさんに伝えていかなければいけない、お母さんたちの声をうまく伝えていく役割や、母＝子の関係性だけでないひろば、いろんな人にお母さんも子どもも出会えるような関係性を、ひろばはめざしていかなければいけない、と総括されました。

〈感想〉

「外国人や異世代など多様な立場の人を交えたひろば作り」というものを考えるきっかけをもらいました。人と人がつながる場として、親子が気軽に利用できる場づくりをしていきたいと改めて思うことができました。

分科会2 地域の子育て資源をネットワークする



写真 左より順

事例報告

都築由美さん 鳥見あそび隊 代表

西川 正さん NPO 法人市民活動情報センター・ハンズオン埼玉

瀧 康人さん 市民生活協同組合ならコープ組織広報 CSR 推進課
コーディネーター

岡本瑞子さん NPO 法人子ども NPO 和歌山県センター 理事長



<分科会の内容>

「お父さんのヤキモタイム」の活動で知られている西川さん、ならコープの店舗で、子育てひろばを併設し地域の方に運営してもらおう、という活動を行われている瀧さん、そして都築さんと、それぞれ立場も年齢も違う方に事例報告をしていただき、「資源」を「人材」と捉えて、議論が行われました。「地域の人材と繋がる」といったときに、いかに核となるキーパーソンを見つけるか、そして、地域に散らばっている「何か役に立つものがあったら一緒にやりたいと思うけれども関わる場がない人」と繋がっていくことで地域の資源が繋がっていくのではないか、と総括されました。

<感想>

『楽しい子育てとは、地域に自分の子どもを知っている人を増やす。ひいては地域づくりの活動』という言葉と、「地域に眠る資源＝人」を発掘し、また参加者を「お客さん」にしない、ということがとても印象に残りました。

分科会3 子育て支援における行政との「協働」について



写真左より順

事例報告

福森るりさん 香芝市教育委員会学校教育課

北島真理さん M's ネット 代表

コーディネーター

赤松邦子さん へぐり CO 育てネット 代表

<分科会の内容>

奈良市で子育てひろばを2つ運営している M's ネットの代表北島さん、奈良県中部の香芝市で行政の立場から子育て支援に関わっていた福森さんに事例を報告していただきました。その中で、偶然、市民と行政の当事者同士ウマがあったからうまくいくのではなく何のために二者がそれを進めていくのかということを中心に議論が進められました。ネットワーク作り、人と人をつないでいくということも含めて、市民のために、個人のためではなく、みんなが協力し合って生きていくことが大事なのではないか、という総括がなされました。

<感想>

行政の立場として、住民の持っているパワーを信頼することの大切さを感じることができました。また、人材の育成も含めて協働には時間がかかるという結論は、考えれば当たり前のことですが、改めて目を開かれる思いでした。

報告者のお2人は、それぞれの立場（行政、民間）での体験を話され、更に個人として思うことにも触れてくださいました。赤松さんの進行もとてもお上手で、言いたい事が言え、聞きたい事が聞けました。福森さんの言われた「めざすところをお互い深く熱く語り合う」ということ、心からそうだと思います。

◆プログラム4 全体会（各分科会の報告及びまとめ）



<様子>

参加者は各1つの分科会しか参加できなかったこともあり、ほかの分科会のコーディネーターの方が報告される内容を、熱心に聞かれていました。

<感想>

地域に密接したひろばのあり方について考えなければならぬと思いました。また各分科会の活発な様子がよく分かりました。

写真の左、真ん中
全体会の様子
写真右 コーディネーター
仲川元庸さん

◆プログラム5 意見交換会



総合司会
岡本瑞子さん
NPO 法人子ども NPO 和歌山県センター理事長

<様子>

全体会と打って変わって、和気藹々とした雰囲気の中で行われました。全体会の中では話しきれなかったこと、パネルディスカッションの内容などについて、参加者と登壇者や参加者同士で話し合い、いろいろな人が交流する場でもありました。

<感想>

参加した分科会以外の事例報告をされた方のお話も伺えたのでとても勉強になりました。またさまざまな所属の方とお話できてよかったです。

<セミナー全体の感想>

- ・ 行政として NPO とのつながりが求められている中、つながり方についてたいへん勉強になりました。
- ・ 私自身が今、子育て中で、子育てサークルを立ち上げているので何か運営の参考にさせていただければ良いな、と思って参加させていただきました。子育ては楽しく、かつ、しんどく、自分の殻に閉じこもりがちになってしまうというのは身にしみてわかっています。そんな母親を 1 人でもラクにしてあげられるようにするにはどうすれば良いか、私も考えて行きたいと思います。
- ・ 昨年まで保育所勤務していましたが、子ども家庭課に異動となり、住民との様々な形で共に活動する中での具体的なことを経験する中、まだまだ学ぶべき点があると思い参加させていただきました。色々参考にしていきたい点もありありがとうございました。

